



## 令和7年度地域相談支援フォーラムin 島根 「がん×災害」を開催しました

がん患者・家族サポートセンター センター長

がん専門相談員 (MSW)

たむら けんじ  
田村 研治  
いまおか さおり  
今岡 佐織

近年、全国で災害が頻発する中、医療現場では非常時にも、「がん医療を継続できる体制整備」が求められています。がん診療連携拠点病院等の整備指針では、感染症のまん延や災害時にも必要ながん医療を提供する体制の確保が明記されており、各病院でBCP（事業継続計画）の策定が進められています。

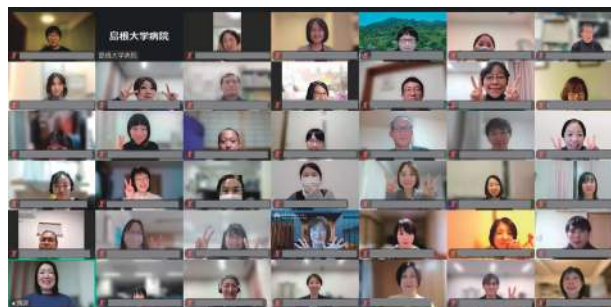
災害現場の状況を知り、がん患者さんへの必要な対応について、がん相談支援センター（当院名称「がん患者・家族サポートセンター」）ができる具体策とは何かを考えることを目的に、当院高度外傷センター下条芳秀講師および、森山詠美子災害看護専門看護師に登壇いただき、令和7年12月13日（土）、WEBフォーラム「がん×災害～『もしも』に備え、がん相談支援センターができること～」を開催しました。

島根県内外から約50名の相談員が参加し、災害医療の基礎知識や現場報告、BCP策定状況、がん患者さんの声を共有し、自施設の課題や取り組みについて活発な意見交換が行われました。参加者からは「備えの重要性を再認識した」「院内連携や県との協議も必要と感じた」などの声が寄せられ、相談部門の取り組みを始めるヒントを得たとの意見も多くありました。

年明けの島根県東部を震源とする地震では、研修で学んだことが現実となり、日頃の備えの重要性を改めて実感しました。今回のフォーラムで得た知識とネットワークを活かし、がん患者さんご家族が安心できる相談支援体制整備を進めてまいります。



高度外傷センター 下条芳秀講師



集合写真

問合せ先 **がん患者・家族サポートセンター** TEL : 0853-20-2518

